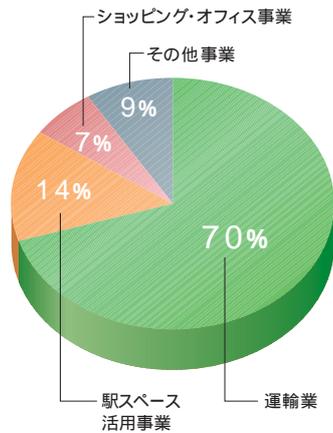


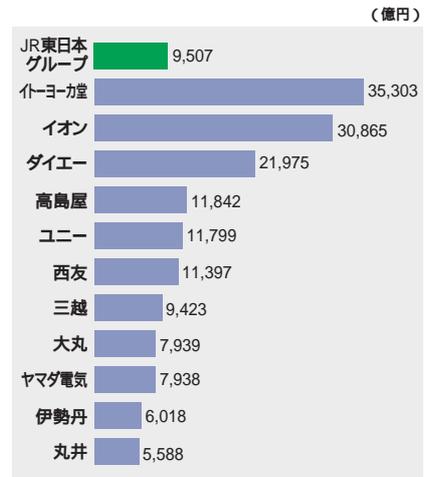
経済面から見た JR東日本の事業構成

JR東日本グループの事業の中心は鉄道事業で、2002年度の連結売上高の70%は運輸部門によってもたらされました。残りの約30%は駅ビルのショッピングセンター、ホテル、小売などの生活関連事業によるものです。これらの事業は鉄道事業に比べると小さいものの、同業他社に比べると決して小規模ではありません。例えばショッピングセンター事業について見てみると、JR東日本は専業の大手と売上高で肩を並べるほどの実力があります。

JR東日本グループの売上高(2002年度)



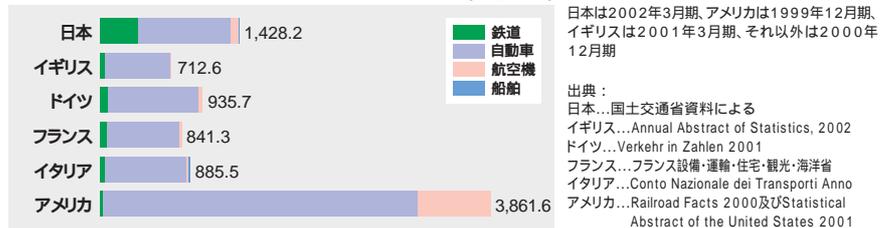
ショッピングセンター事業の売上高(2002年度)



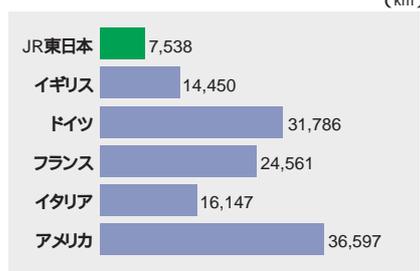
鉄道の輸送状況

経済規模や地理的特性により、日本では鉄道に対する依存度が高く、大きな鉄道需要をもたらしています。JR東日本は日本で最大の、世界でも最大級の鉄道会社です。営業キロ数は他国に比べてむしろ小さいのに対して、輸送人キロ、旅客運輸収入、輸送人員はいずれも大きく、営業キロあたりの輸送人キロは突出しています。このことは、JR東日本が、限られた資源を効率よく利用して、お客さまに便利なサービスを提供すると同時に、経済的にも効率性を実現していることを示しています。

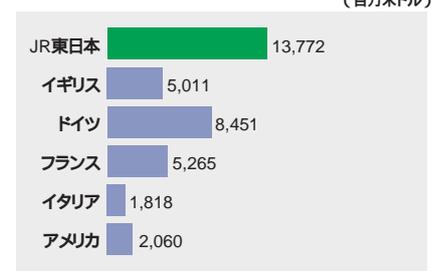
各国の旅客輸送業



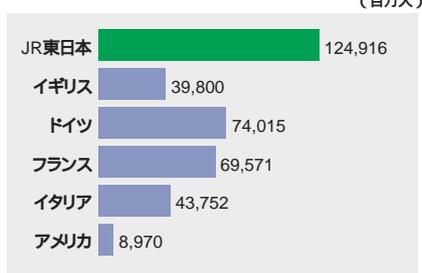
各国の営業キロ



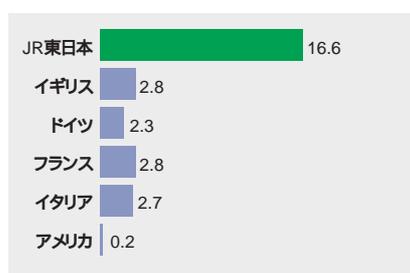
各国の旅客運輸収入



各国の輸送人キロ



各国の輸送人キロ / 営業キロ



2000年12月期または12月期末(JR東日本とイギリスは2001年3月期または2001年3月期末、アメリカは1998年12月期または12月期末)

- 注：1. イギリス...旅客列車運営会社(TOCs)線路はレールトラックにより所有) ドイツ...ドイツ鉄道会社 フランス...フランス国鉄 線路はフランス鉄道線路公社により所有) イタリア...イタリア鉄道 アメリカ...アムトラック
2. 営業キロは貨物専用線を含みません(イタリアを除く)。旅客輸送営業を行うことを明示した営業線の長さで、輸送量または運賃計算の基礎となるもの
3. 輸送人キロは輸送した各々の旅客にそれぞれの旅客が乗車した距離を乗じたものの累計
4. 換算レートは2001年3月末の実勢レート(1米ドル=122円、1英ポンド=1.44米ドル、1米ドル=2.20独マルク、7.40仏フラン、2.183伊リラ)を用いています。

出典：国際鉄道連合「世界各国鉄道統計」

日本の鉄道事業におけるJR東日本の輸送人キロ



2001年3月期または3月末
出典：国土交通省「鉄道統計年報 平成12年版」

首都圏の鉄道事業におけるJR東日本の輸送人キロ



出典：国土交通省「平成13年版 都市交通年報」